

事務所が所在する揖斐川町は、7月8日の梅雨明け以降酷暑続きでしたが、7月下旬以降は一転して雨模様が続き、時間最大雨量が70mmを超える非常に激しい豪雨も観測されましたが、工事に影響が及ぶことはありませんでした。また、降雨による影響を心配していた今年2回目の「里山探検隊」も、天気にも恵まれ「ホッ」としました。

徳山ダムを船で探検

8月7日に小学生2名を含む隊員20名により、今年度第2回目の「里山探検隊」を開催しました。総貯水量日本一の「徳山ダム」のダム湖より見学したほか、山の谷第1砂防堰堤で行われている「サイフォン式排水装置」を利用した小水力発電の実験現場などの見学を行いました。参加した隊員からは、「ダム湖からのダムの姿が見られて良かった」「サイフォン式排水装置実験に感銘した」などの感想をいただきました。



ダム湖からの見学の模様



サイフォン式小水力発電の見学

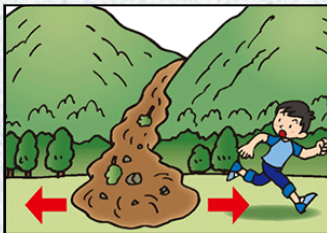
[詳しい活動内容はココをクリック\(事務所HPへ\)](#)

土石流から身を守るために

7月中旬以降、全国各地で集中豪雨による土砂災害や河川の氾濫による被害が多発しています。土石流から身を守るためには、どうすれば良いでしょうか。

○直角に逃げる

土石流が流下する速さは一般的に時速20~40km速度と言われています。もし、土石流に遭遇したときは、流下する方向に対して直角に逃げましょう。



○より安全な場所へ移動する

既に大雨で避難するのが危険な場合などは、堅固な建物であれば、土石流が流下してくる反対側のなるべく上の階に移動する事で、土石流に巻き込まれる確率が低くなります。



土砂災害から身を守るためには、正しい情報の収集、早めの避難、日頃からの備えが必要です。自分が住んでいる場所が土石流などの土砂災害発生の危険性がある箇所かどうかを、市町村が発行するハザードマップや各都道府県で指定している土砂災害危険区域等の情報等で確認します。そして、気象庁が発表する土砂災害警戒情報や市町村からの避難情報等により早め早めの避難が必要です。また、日頃より避難に必要な非常持ち出し袋を準備したり、避難訓練等への参加や家族で災害時の行動などを話し合っておくことも大切です。

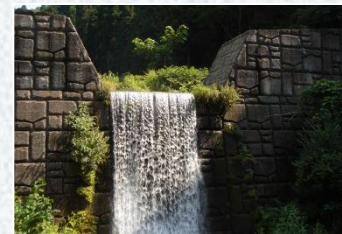
流木による被害を軽減

揖斐川町坂内坂本(さかうちさかもと)地先の琴谷(ことたに)に設置してある琴谷砂防堰堤(堰堤高 H=11.0m)及び、揖斐川町小津(おづ)地先の下辻谷(しもつじたに)設置してある下辻谷砂防堰堤(堰堤高 H=14.0m)において、流木の捕捉機能を高めるために鋼製の流木止めを設置します。

土石流と共に流下する流木が橋梁や狭窄部を閉塞し、後続流などが氾濫被害を起こす場合があります。このような流木による被害を軽減させるため、流木止めを設置し捕捉機能をアップさせます。施工は両堰堤とも(株)ヤマモトが行います。



琴谷砂防堰堤



下辻谷砂防堰堤

いびがわの祭り

8月5日、揖斐川町の前島橋上流河川敷を会場に「いびがわの祭り」が行われました。この祭りは古くから揖斐川町に伝わる「かっぱ伝説」と、明治期に発生した水害からの復興を祈願する「水神まつり」に由来するそうです。

お祭りのメインは「ありがとう花火大会」です。揖斐川への感謝の気持ちが書かれたメッセージシールを貼った花火など約6,500発が打ち上げられ、揖斐川河畔には大きな歓声と共に響き渡っていました。



お祭りの様子



花火打ち上げの様子



クマタカ通信をメール配信します。配信希望の方は下記宛に「配信希望」とメールを送信して下さい。

また、クマタカ通信の感想やご意見もお待ちしています。

発行 国土交通省中部地方整備局
越美山系砂防事務所 揖斐川砂防出張所
〒501-0619 岐阜県揖斐郡揖斐川町三輪2303-3
Tel: 0585-22-3526 Fax: 0585-22-6626
E-mail: ibigawa-sabo@beach.ocn.ne.jp